

(社)日本リモートセンシング学会 第67回(令和元年度秋季)学術講演会  
発表プログラム

ミッション (A会場, 11月28日(木) 9:45-10:30)		
A	1	地球観測衛星のデータ提供の現状と今後 ○夏井坂 誠・池畑 陽介・黒岩 かおり・多賀 正敏(JAXA)
A	2	GOSAT-2の現在の状況および今後の計画 ○野田 響・吉田 幸生・森野 勇・齊藤 誠・丹羽 洋介・大山 博史・亀井 秋秀・佐伯 田鶴・松永 恒雄(国環研)
A	3	宇宙からの森林観測 ISS搭載植生ライダーMOLI計画 ○今井 正・境澤 大亮・グエン タットトルン・三橋 伶・澤田 義人・林 真智・木村 俊義(JAXA)・浅井 和弘(東北工大)
森林 (A会場, 11月28日(木) 10:45-12:00)		
A	4	熱帯林変化域における後方散乱係数とNDVIの時系列傾向分析 ○立石 恵一(北大)・田殿 武雄・堀雅裕・塩見慶(JAXA)・小野里 雅彦(北大)
A	5	Improving ALOS-2 tropical forest monitoring by using GSMAp rainfall data ○C. Koyama・M. Watanabe(TDU)・M. Hayashi・I. Nagatani・T. Watanabe・T. Tadono(JAXA)・M. Shimada(TDU)
A	6	国内森林管理の高度化に向けたALOS-2/PALSAR-2を利用した伐採地検出 ○林 真智・田殿 武雄・落合 治(JAXA)・齋藤 英樹・高橋 正義・鷹尾 元(森林総研)・山野 隆・福田 研介(茨城県)・伊藤 拓弥(RESTEC)
A	7	局所規格化によるJJ-FAST森林伐採検出精度の改善 ○渡邊 学・クリスティアン 小山(電機大)・林 真智・永谷 泉・田殿 武雄(JAXA)・島田 政信(電機大/JAXA)
A	8	複数の森林サイトにおけるベイズ的衛星データフュージョンの適用性の検討 ○水落 裕樹(産総研)・林 真智・田殿 武雄(JAXA)
陸域 (A会場, 10月29日(金) 9:15-10:15)		
A	9	Landsat画像を用いた様々な土壌被覆タイプに対する鉱山の採掘面積推定法の開発 ○佐久間 東陽(筑波大)・山野 博哉・中島 謙一(国環研)
A	10	規範型教師データを取り入れた同時多発型斜面崩壊危険箇所評価支援策 ○内田 一 敏・小島 尚人(東理大)・鈴木 建瑠(国交省)
A	11	高解像度/高頻度観測の多バンド小型光学衛星による農業環境情報計測-VenμsとDoveに関する予備的検討 ○井上 吉雄(東大)・Dedieu, Gerard(GESBIO)・吉田 直史(福島県)・岩崎 晃(東大)・本田 謙一・虫明 成生(国際航空)・境谷 栄二(青森産大)
A	12	衛星画像を入力としたCNNの説明可能性や汎化性能に関する一考察 ○杉本 隆・神山 徹・N. Imamoglu・中村 良介(AIST)
SAR2 (A会場, 11月29日(金) 10:30-12:00)		
A	13	ドローン搭載レーザデータの合成開口処理 ○出口 知敬・杉山 智之・岸本 宗丸(日鉄鉱)
A	14	Integration of GB-SAR and Spatial Data Processing for Real-Time Landslide Monitoring ○D.C. VALENTINE(Tohoku Univ.)・M. Sato(CNAS)
A	15	合成開口レーザ画像による浸水域の抽出について ○六川 修一・中村 貴子(東大)
A	16	干渉SAR処理による新燃岳、硫黄山の火山変動 ○藤山果穂・島田政信(電機大)
A	17	PALSAR-2強度データを用いた平成29年7月九州北部豪雨における斜面崩壊地の抽出 ○木村 智・三谷 泰浩・岡島 裕樹・田 露・田淵 太雅(九大)
A	18	時系列干渉SARを用いた埼玉県鳩山町の地盤沈下抽出に関する研究2 ○岩立 渉・島田 政信(電機大)
実利用・都市域 (A会場, 11月29日(金) 14:45-16:15)		
A	19	超高分解能画像を用いた画像特徴分析支援策の一提案 ○渡邊 大智・小島 尚人(東理大)・古木 宏和(日本工営)
A	20	Deep learningを用いた福島県における鋼橋の腐食検出 ○佐藤 直人・中村 和樹・和泉 勇治・子田 康弘(日大)
A	21	コンクリート表面ひび割れ領域内分類を目的としたハイバースペクトルデータの適用性 ○宗像 俊・渡邊 大智・小島 尚人(東理大)
A	22	偏波合成開口レーザによる建物地の散乱成分分解 ○岩瀬 彰仁・木村 宏(岐阜大)
SAR1 (B会場, 11月28日(木) 9:45-10:30)		
B	1	インドネシアにおける洪水時の水稲被害把握手法の検討 ―生育段階の判別について― ○北神 貴久・本郷 千春(千葉大)・若林 裕之(日大)・B. Tjahjono(Bogor Agricultural Univ.)・Sitaresmi Dewayani・Dadan Hidayat(West Java Province)
B	2	SARデータを利用した水稲移植日自動推定システムの構築 ○眞子 直弘・本郷 千春・祖父江 侑紀(千葉大)・G. Sigit(West Java Province)・B. Barus(Bogor Agricultural Univ.)
B	3	干渉SARで捉えた永久凍土帯における森林火災後の地盤変動 ○阿部 隆博(JAXA)・岩花 剛(アラスカ大)・田殿 武雄(JAXA)
水域・雪氷 (B会場, 11月28日(木) 10:45-12:00)		
B	4	MA-ATI手法を用いたPISAR-2画像解析による水面の流れ方向の推定 ○吉田 毅郎(東大)・大内 和夫・Chan-Su Yang(KIOST)
B	5	階層クラスタリングによる植物プランクトンの 光学的特徴分類に基づいた生物光学モデルの構築 ○藤田夏菜子・比嘉嘉士(横国大)・サレム イbrahim サレム(京都先端大)
B	6	Operational Ship Detection and Identification System Using SAR and AIS for Maritime Domain Awareness 水越 紀良(IJS)・大内 和夫・渡辺 剛(IHI)
B	7	深層学習を用いた海水氷結度短期予測手法を利用した海水分布確率の推定 ○川嶋 一誠・神山 徹・杉本 隆・中村 良介(AIST)
B	8	白瀬水河と水河末端を取り囲む定着氷の流動速度 ○中村和樹(日大)・青木茂(北大)・山之口勤(RESTEC)・田村岳史・牛尾収輝・土井浩一郎(極地研)
観測 (B会場, 11月29日(金) 9:15-10:15)		
B	9	太陽光を利用した群落レベルでのスタンドオフ植物蛍光測定 ○栗山 健二(静岡大)・眞子 直弘(千葉大)・王 権(静岡大)・久世 宏明(千葉大)
B	10	RadCalNetデータを用いたISS搭載HISUISセンサーデータの校正検証 ○山本 浩万・土田聡(GSJ/AIST)・Jeffrey Czaplá-Myers(Univ. Arizona)・Kurt Thome(GSFC/NASA)
B	11	はやぶさ2/光学航法望遠カメラ(ONC-T)へ適応された月校正の検証 ○神山 徹(産総研)・巽 瑛理(IAC)・本田 理恵(高知大)・横田 康弘(JAXA)・本田 親寿(会津大)・諸田 智克・杉田 精司(東大)・亀田 真吾(立教大)・山田 学(千葉工大)・鈴木 秀彦(明治大)・坂谷 尚哉・早川 雅彦・澤田 弘崇(JAXA)・長 勇一郎(東大)・松岡 萌(JAXA)・吉岡 和夫(東大)
B	12	地表面反射率データの取得と大気補正への活用 ○辻 慧・Nofel Lagrosas・久世宏明(千葉大)
特別セッション(雪氷) (A会場, 11月28日(木) 15:15-16:45)		
S	1	北半球の季節海水域を対象としたAMSR2薄氷域抽出アルゴリズムの改良 ○長 幸平・直木 和弘(東海大)
S	2	海水の成長過程におけるマイクロ波輝度温度観測 ○直木 和弘(東海大)・中山 雅茂(北海道教育大)・長 幸平(東海大)
S	3	サロマ湖におけるMODIS画像の熱力学解析による氷厚推定と現地検証(4) ○小池 優希・外岡 秀行(茨城大)
S	4	Sentinel-1 SARデータによるサロマ湖上氷の観測 ○若林 裕之(日大)・外岡 秀行(茨城大学)
S	5	合成開口レーザを用いた氷河湖監視システムの構築に向けて ○永井 裕人(早稲田大学)
S	6	南極域におけるDEMの検証 -InSAR DEMと光学ステレオ視によるDEM- ○山之口 勤(RESTEC)・土井 浩一郎(極地研)・中村 和樹(日大)・青木 茂(北大)
実利用・都市域 (A会場, 11月29日(金) 14:45-16:15)		
U	1	高密度航空レーザ計測データの可視化技術を金華山の史跡調査に適用した事例 ○宮坂 聡(中日本航空)・沢田 和秀(岐阜大)・小野 伸秋(日調連)・野尻 智周(金華山サポーターズ)・小野貴稔(中日本航空)
実利用(ポスター) (P会場, 11月28日(木) ポスター展示13:30-15:00, 11月29日(金) ポスター展示13:00-14:30 (U2)-(U10))		

U	2	都市公園におけるUAV搭載型マルチスペクトルカメラによる台風前後における植生のスペクトル特性	○古田 尚輝・朝香 智仁(日大)・鈴木 良(協和コンサルタンツ)・杉村 俊郎・岩下 圭之・野中崇志(日大)
U	3	SPOT6&7を用いた衛星画像解析による機南海域の藻場推定	○岡本 淳・寶楽 裕・萩原 友理子・北野 武司・天津木 亮介(PASCO)
U	4	土地被覆分類を考慮したUAVセンシングによる空間線量マッピングの高精度化	○長谷川 匡(ふたば)・大山 勝徳・五十嵐 貴大・鬼川 凌・若林 裕之(日大)・泉 正寿(ふたば)
U	5	衛星SARデータを用いた貯水地周辺斜面の変動領域の抽出	○引地 慶多・本田 謙一・浅田 典親・山口 恭子・佐藤 匠・虫明 成生・佐藤 渉(国際航業)・佐藤 弘行(国交省)・清水 則(山口大)
U	6	緊急対応を想定したAIによる土砂災害分析の適用性	○小林航・下村博之・吉川和男・武田大典・島崎康信・柴山卓史(PASCO)
U	7	衛星搭載合成開口レーダ(SAR)と船舶自動検出装置(AIS)を使った違法操業船舶等の検出と認識システムの開発	水越 紀良(JS)・○大内 和夫・渡辺 剛(IHI)
U	8	ライトセンサ調査と比較した広域湿原におけるシカ個体数推定のためのドローン熱画像の有用性評価	○峯岸優好(ふたば)・牧雅康(福島大)・沖一雄(東大)・奥村忠誠(野生動物保護管理事務所)
U	9	UAVハイパースペクトルリモートセンシングによる複数年の水稲生育診断	○栗原 純一(北大)・長田 亨(北総研)
U	10	地上設置型レーダで検出した斜面崩壊前後の地表面変位	○出口 知敬・杉山 智之・岸本 宗丸(日鉄鉱コンサルタント)
ポスターセッション(1) (P会場, 11月28日(木)ポスター展示13:30-15:00 (P1)-(P36) コアタイム: 奇数番号 13:30-14:10 / 偶数番号 14:20-15:00)			
P	1	2008~2017年の米国アイオワ州におけるトウモロコシ収穫量とMODISによるCDNT及びNDVIの関係(2)	○川村 悠生・外岡 秀行(茨城大)
P	2	車載LiDAR搭載UAVシステムによる低高度からの水稲草丈モニタリングの検討	○山根 怜・高橋 一義(長岡技科大)・Anh Thu Thi Phan(Vietnam National Univ.-Hochiminh City Univ. of Tech.)・佐藤 栄一(新潟工大)
P	3	Deepmathingの標高モデルの計算への応用	○公文 勇樹・岩崎 晃(東大)
P	4	ハイパースペクトルデータによる鉱物マッピングのためのスペクトルおよび地形情報のHSVカラーモデルによる統合表現	○柘倉 芳年・山口 靖(名大)
P	5	点像分布関数補正を用いたコンステレーション衛星の画質評価	○山田 達也・井上 吉雄・岩崎 晃(東大)
P	6	ひまわり8号画像を用いた首都圏5都市における蓄熱フラックスの日変動解析(2)	○鮎澤 一樹・外岡 秀行(茨城大)
P	7	POLSAR画像による船舶検出(AIS情報との照合)	○西岡裕司・木村 宏(岐阜大)
P	8	報道情報を利用したSARリモートセンシングによる浸水建物把握の高度化	○岡田 元希・ルイス モヤ・エリック マス・越村 俊一(東北大)
P	9	時系列干渉SARデータを用いた熊本地震2016以降の地殻変動検出2	○高橋 昂也・島田 政信(電機大)
P	10	多時期単偏波SAR画像と畳み込みニューラルネットワークを組み合わせた変化検出法の汎用的な土砂災害検出能力の検証	○勝木 龍太・多田村 克己(山口大)・佐村 俊和(山口大, JAXA)
P	11	合成開口レーダによる土地利用分類へのDeep Learningの応用(2)層CNNによる精度向上	○川合 亨・木村宏(岐阜大)
P	12	Sentinel-1データを用いた永久凍土融解による地表面変化検出	○細谷 篤志(千葉大)・市井 和仁(千葉大)・小林 秀樹(JAMSTEC)
P	13	ザンビアの重金属汚染地域における、LANDSATによるNDVIを用いた植生の解析	○由田 康人・内田 義嵩・Ikabongo MUKUMBUTA(北大)・Patricia N. Mwilola・Mwenya K. RHODA・Nachilongo ZUNGUKANJI(Univ. Zambia)
P	14	北東ユーラシアにおける陸域CO2収支と植生活動の変化	○川瀬 陸(千葉大)・市井 和仁(千葉大)・小谷 亜由美(名大)・鈴木 和良(JAMSTEC)・檀山 哲哉(名大)
P	15	ウェーブレット変換を用いたハイパースペクトルデータの分類	○山田 貴斗・岩崎 晃(東大)
P	16	ひまわり8号を用いた東南アジアの植生季節変動モニタリング	○林 航大・市井 和仁・山本 雄平(千葉大)
P	17	ラフ集合理論を用いた新しい地図統合手法の提案	○石井 順恵(茨大)・岩男 弘毅(産総研)・木下 嗣基(茨大)
P	18	分光反射特性を保存したパンシャープ画像におけるナラ枯れ分類条件の決定	○藤原 由季・村松 加奈子(奈良女大)
P	19	ひまわり8号の観測データを使った懸濁物質濃度推定手法の検討	○三保谷 稜・虎谷 充浩(東海大)
P	20	実測反射率データを使ったLandsat-8バンドによるまき土の土壌水分推定の可能性	○原田 優生・作野 裕司(広島大)
P	21	Landsatを用いたハンガリーのマイメンシン流域の洪水域検出	○麻本 光・朴 鍾杰(東京情報大)
P	22	諏訪湖の解氷日の推定を念頭としたSGLIの海面水温プロダクトの評価	○中澤 友宏・野中 崇志・岩下 圭之(日大)
P	23	SGLIデータを用いた吸収性エアロゾルによる反射率の補正手法の検討	○紺野 雅裕・虎谷 充浩(東海大)
P	24	CNNを用いたひまわり8号赤外バンドによる雨域推定の試み	○岸田 侑子・今岡 啓治・新銀 秀徳・小河原 加久治(山口大)
P	25	Sentinel-2とHimawari-8を用いた河川流出パターンの流動の推定について	○石橋 勇志・内田 裕貴・岩下 圭之・杉村 俊郎(日大)
P	26	高懸濁水域における懸濁物質濃度推定アルゴリズムの検討	○瀧田 侑己・虎谷 充浩(東海大)・緒方 一紀(JAXA)・比嘉 紘士(IUI)・作野 裕司(広島大)
P	27	衛星湖沼水温データベース日本編(SatLARTD-J)を用いた水温-気温差の季節変動に基づく湖沼分類(2)	○溝口 裕大・外岡 秀行(茨城大)
P	28	SGLI海色大気補正処理プログラムにおけるエアロゾルモデル選択手法の検討	○片野 晃汰・虎谷 充浩(東海大)・石坂 丞二(ISEE)・堀 雅裕(JAXA)
P	29	Landsat-8による西日本豪雨直後の海洋ゴミ検出の試み	○森本 雅人・作野 裕司(広島大)
P	30	Landsat-8データによる栄養塩推定の可能性	○田中 美佳・作野 裕司(広島大)
P	31	UAV取得高分解能画像における土地被覆分類精度評価	○五十嵐 貴大・若林 裕之(日大)
P	32	Sentinel-2データを用いた水田土壌の腐植含量の推定	○渋谷 祐人・本郷 千春(千葉大)・本間 香貴(東北大)・G. Sigit(West Java Province)・B. Barus(Bogor Agricultural Univ.)
P	33	Landsat8衛星データを用いたインドの野焼き抽出方法の検討	○大林 真菜・村松 加奈子(奈良女大)
P	34	MODISデータを用いたAMS2海水密度推定精度の評価	○長尾 峻平・直木 和弘・長 幸平(東海大)
P	35	TROPOMIで観測されたインド上空の二酸化窒素の解析	○新田 佳歩・林田 佐智子(奈良女大)・林田 佐智子(地球研)
P	36	ひまわり8号データを用いた可降水量の導出	○大坪 宙熙・今岡 啓治・小河原 加久治・新銀 秀徳(山口大)
ポスターセッション(2) (P会場, 11月29日(金)ポスター展示 13:00-14:30 (P37)-(P68) コアタイム: 奇数番号 13:00-13:40 / 偶数番号 13:50-14:30)			
P	37	Data fusion-based spectral unmixing with spectral variability	○T. Uezato・N. Yokoya・W. He(Riken AIP)
P	38	衛星リモートセンシングを用いた作物の生育状況把握のための指標の検討	○大木 隼人・石井 一徳・木村 篤史(PASCO)
P	39	GCOM-C/SGLIを用いた2018年のカリフォルニア州林野火災の解析	○棚田 和玖・村上 浩・堀 雅裕・小林 利行(JAXA)
P	40	コヒーレンス画像を用いた平成30年7月豪雨における浸水建物の抽出のための検討	○園部 雅史・羽柴 秀樹(日大)
P	41	深層学習によるPi-SAR X2偏波観測データの土地被覆分類	○有馬 悠也(NICT)
P	42	深層学習を用いた超解像手法の衛星画像への適用	○山田 勉(日本ユニシス)
P	43	GCOM-C/SGLIデータを用いた高時間解像度土地被覆マップの作成	○小林 利行・村上 浩(JAXA)
P	44	GCOM-C/SGLI向け影指数推定アルゴリズムの開発	○森山雅雄(長崎大)
P	45	UAV画像の深層学習を用いたマツ枯れ跡地の樹種分類	○米 康充(鳥根大)

P 46	植生の分布状態に基づいた空間スケールの分析の試み	○熊谷 樹一郎・亀田 祐希(摂南大)
P 47	植被率推定のためのピュアピクセルデータ算出法の検討	○伊藤 征嗣・小西 智久・小黒 剛成(広工大)
P 48	Landsat 8データにより検知した熱源要因推定の評価	○加藤創史(RESTEC/AIST)・松下浩之・織田篤嗣・町田久美子・中村良介(AIST)
P 49	Sentinel-2によるダイズ圃場の排水性の評価と生育状況の観測	○米澤千夏(東北大)・松波寿典(農研機構)
P 50	水稲における基準単収算定のための収量推定	○祖父江 侑紀・本郷 千春(千葉大)・Gunardi Sigit(West Java Province)・本間香貴(東北大)・B. Barus(Bogor Agricultural University)
P 51	深層学習を用いた農作物の病虫害の識別	○木村篤史・大木隼人・石井一徳(PASCO)
P 52	アマゾン川河口における土地なし農民による違法占拠地の土地利用変化	○吉川沙耶花(東工大)・石丸香苗(福井県立大)
P 53	衛星画像によるメッカ大巡礼におけるインフラの観測	○杉村 俊郎(日大)・スルタン・アル・スルタン(サウジ環境リモセンセンター)
P 54	SMILES-2の微量成分感度解析	○鈴木 睦(JAXA/ISAS)・P. Baron・落合 啓(NICT)・眞子 直弘・久世 宏明(千葉大)・秋吉英治(国環研)
P 55	Monthly mean cloud top pressure over Chiba and southern oscillation index (SOI): 18-year observations from MODIS satellite data	○N. Lagrosas・H. Kuze(Chiba Univ.)
P 56	火山表面現象計測用の非冷却マルチバンド赤外カメラの開発	○實渕哲也(防災科研)
P 57	Sentinel-2/MSIデータに畳み込みニューラルネットワークを適用した土砂崩壊地の抽出	○小西 智久・伊藤 征嗣・小黒 剛成(広工大)
P 58	AW3D30を用いた地すべり分布推定手法の検討	○野々村 敦子・長谷川 修一(香川大)・千葉 達朗(アジア航測)
P 59	GOSAT-2による太陽光誘起クロロフィル蛍光観測の初期結果	○押尾 晴樹・吉田 幸生・松永 恒雄(国環研)
P 60	Sentinel-2A/MSIデータによるクロロフィルa濃度の推定について	○小黒 剛成・小西 智久・伊藤 征嗣・三浦 智恵美(広工大)
P 61	Sentinel-2/MSIデータを用いた総生産キャパシティ推定におけるクロロフィルインデックスの緑とレッドエッジ波長帯の比較	○村松 加奈子(奈良女大)
P 62	小型GNSS受信機による対空標識の測位マニュアル	○坂本利弘・岩崎巨典・石塚直樹・David S. Sprague(農研機構)
P 63	ASTERデータを用いた鉱物指標に対する植生の影響低減	○児玉 信介(産総研)
P 64	日本周辺海域の一次生産量1. アルゴリズムの比較	○亀田 卓彦(中央水研)
P 65	航空機搭載SARにより取得されたシングルパス干渉データの処理ツールの作成	○上本 純平(NICT)・森山 敏文(長崎大)
P 66	水深および底質調査データを用いたSentinel-2Aでの浅海域底質指標の算出	○水上 陽誠・田殿 武雄(JAXA)
P 67	SAR HH偏波データを用いたクロマツ海岸林の生育評価	○青山 定敬・内田 裕貴・杉村 俊郎(日大)
P 68	PALSAR-2の偏波干渉SARデータを用いた森林域の土砂災害の検出	○大木 真人・阿部 隆博・田殿 武雄(JAXA)・島田 政信(電気大)